令和3年度 農山漁村6次産業化対策事業 農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業 農畜産業プラスチック対策強化事業

# 生分解性マルチ導入推進シンポジウム2022のご案内

生分解性マルチが注目されています。

生分解性マルチは土壌にすき込むと微生物が分解するので、はぎ取り作業・回収処理が不要です。 収穫後の労力や時間を短縮したい、廃プラスチックの排出量を削減したい農業者・産地におすすめします。 本シンポジウムでは生分解性マルチの使用例を紹介します。

生分解性マルチの導入を考えている農業者、産地の方、普及に取り組んでいる方、どうぞご参加下さい。

## と き:2022年3月16日(水)10:10~12:00

東京・神田 エッサムホール2号館401会議室(東京都千代田区内神田3-24-5) および Zoomで同時配信

主 催:農業用生分解性資材普及会

■参加費:無料

■シンポジウムプログラム

● 主催者挨拶 10:10~10:15

● 基調講演 生分解性マルチの特徴と使いこなし

農業用生分解性資材普及会 10:15~10:30

● **今年度の栽培実証報告** 千葉県 J A 長生管内 葉ニンニクの栽培 10:30~10:50

● **導入事例報告** ロマネスコ・落花生:福島県喜多方市 10:50~11:10

ナス:京都府京都市 11:10~11:30

● 栽培試験紹介 鳥取県園芸試験場のスイカ栽培について 11:30~11:40

● 質疑・討議 生分解性マルチの導入・普及へのアドバイス

11:40~12:00

ユニック㈱ 坂井久純 氏

農研機構 農業環境変動研究センター 北本宏子 氏

東京都農林総合研究センター 島地英夫 氏

農業用生分解性資材普及会会員

● 閉会

#### ◆参加申込方法:

参加者お一人ずつ、<u>下記参加申込書の必要事項</u>をEメールまたはFAXでお送りください。 Eメールの場合は、

件名に「 参加する人の氏名 の後ろに 生分解性マルチ導入シンポ 」とお書きの上、

Eメールアドレス sanka@aba-seibunkai.com まで、

FAXの場合は、参加申込書を03-3233-3666 までお送り下さい。

ご連絡いただいたメールアドレスに参加招待状をお送りいたします。

#### ◆お問い合わせ先:

農業用生分解性資材普及会 事務局(日本農民新聞社内) Eメール mailbox@aba-seibunkai.com / 電話03-3233-3633 ホームページ http://www.aba-seibunkai.com/

### ABA 農業用生分解性資材普及会 会員

- ●会員:アキレス(株)/稲畑産業(株)/岩谷マテリアル(株)/大倉工業(株)/(株)グランツ/(株)今野/サンテーラ(株)/サンプラック工業(株)/(株)GSIクレオス/タキロンシーアイ(株)/BASFジャパン(株)/三菱ケミカル(株)/(株)ユニック
- ●賛助会員: J A全農 /日本バイオプラスチック協会/全国農業資材商業会/ (一社)日本施設園芸協会/ (一社)日本有機資源協会

<b>* * * *</b>	<b>*</b> * *	<b>*</b>	<b>*</b> * *	<b></b>	<b></b>	<b></b>	<b>→</b>	<b></b>	<b>~</b>	<b></b>
H- / \ <b>b</b> .7	$J_{i}kL \longrightarrow J_{i}$	イン苦 <sup>-</sup>	3 ##\#		16 ~ & 그	- <i>1</i>	<del>4&gt;</del> 4ı	¬	#	
生分形	弾性マル	ノナ得ノ	人推進	ソノ	小ンし	ノム	<b>参川</b>	」中12	一香	

申込日 2022年\_\_\_月\_\_日

	中处日 2022年
参加者氏名	参加方法に印 □会場 □Zoom
勤務 <del>先</del> 企業・団体名	
部署名	
所在地または住所 〒	
電話番号	
Eメール	@
質問がありましたらお書きください	
生分解性マルチの参考資料を希望の方は右の□I	- ハロト可称なできる エナ・ハ 「 (か)
エル所は、バイングで気気がで使用されたる。	こV印と部数をご記入下さい L.」 (部)

Eメールの送信先は、sanka@aba-seibunkai.com FAX番号は、03-3233-3666